

【本年度の重点目標】
全職員で 全児童を見守る！
(同じベクトルで、あったかいこども集団・職員集団を)

学校教育目標「**心身ともに たくましく、自立した子どもの育成**」

学校がすき 先生がすき 友だちがすき 高蔵の町がすき そして、自分がすき

「こどもまんなかの
学校教育」

【学校経営の基盤】

日本国憲法、教育基本法、学校教育法等の精神及び学習指導要領の趣旨に基づいた教育を推進し、生きる力を育み心豊かな人間性の育成を目指す教育を展開する。

学校教育は生涯学習の基礎作りであるという認識に立ち、体験的な学習や問題解決的な学習を重視しながら、一人一人に確かな学力と自ら学ぶ意欲や態度が身に付くようにする。北九州市の学校教育の願いや令和6年度指導の重点及び「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」「北九州市学力・体力向上アクションプラン」及び自校「スクールプラン」をふまえ、子ども、保護者、地域の願いに応える教育を推進する。

令和型の新しい学校の創造

【目指す子ども像】「高蔵小3つの花」と、R7の重点目標

- ◎「**こころの花**」(豊かな心) おもいやりの心を持ち、何事にもねばり強くやりぬく子ども
 - すすんで あいさつしよう
 - ありがとうの感謝のきもちをもとう
- ◎「**まなびの花**」(確かな学力) よく考え、自ら進んで学ぶ子ども
 - あきらめずに さいごまで がんばろう
 - 自分の考えを伝えよう
- ◎「**げんきの花**」(健やかな体) 心身ともに元気で明るい子ども
 - えがおでなかよく、かつどうしよう
 - きゅうしょくを モリモリたべよう



【目指す学校像・教職員像】

- ◎「チーム高蔵」
信頼と責任と協力の精神に支えられた創造的で明るい教職員集団及び組織
 - ・ 子どもに対する温かな愛情を持ち、一人一人を大切にする教職員
 - ・ 子どもとともに汗を流し、時を守り、場を清め、礼をたず教職員
 - ・ 自分の仕事に情熱と使命感をもつ教職員
 - ・ 互いに研鑽し合い、専門職としての資質能力の向上を目指す教職員
 - ・ 保護者や地域と連携を惜しまない教職員

《教育目標具現化の努力点・具体的方策》

【学校教育目標達成の環境づくり】

- ① 支持的風土に支えられた学級づくり(学級集団づくり)
- ② 地域に開かれた学校(学習参観、開放週間、学校評価等)
- ③ 家庭との連携の充実(学級懇談会やPTA活動等への協力と参加、積極的な連絡や助言)
- ④ 地域の教育資源や教育力の有効活用
- ⑤ 地域と連携した防災教育の実施
- ⑥ 家庭や地域と連携した安全の確保(スクールヘルパー、ブックヘルパー、登下校安全指導、Tetoruの活用)
- ⑦ 情報の発信(学校HP、学校だより、学年・学級だより、家庭訪問等)

【教育活動の充実と規律ある学校生活づくり】

- ① 子どもの心の居場所づくり(担任、生徒指導主任、養護教諭、等による密接な連携と取組)
- ② 生徒指導の充実(共通理解と同一対応、早期発見と早期対応、危機管理意識(サシスセソ)の高揚と問題事象への緊急対応)
- ③ 清掃指導や給食指導の充実(子どもと心の交流の場)
- ④ 小中一貫・連携教育の充実(吉田中、吉田小)
- ⑤ 学習機会の拡充と学習内容の定着(意欲的に取り組む家庭学習の工夫、補充・発展学習の工夫、全国学調、北九州学調の活用)
- ⑥ 時代の変化に対応する資質や能力の育成(外国語活動、外国語科、情報処理、主体的・能動的学習の育成)

【授業力向上と職員のチームワークづくり】

- ① 全校体制で策定・実施・検証・改善のできるスクールプランの作成と推進
- ② 主題研究の推進(主体的・対話的で、深い学びを目指して)
- ③ 職員研修の充実(事務改善会議、体罰、飲酒運転、セクハラ等の不祥事防止、業務改善研修、LGBTQの研修、学力・体力向上推進員の活用)
- ④ ワークラフバランスを大切にした職場(18時退勤を)
- ⑤ 確かな手ごたえを実感できる研修の充実(人材育成)
 - ・ 学年会の設定
 - ・ 若年研修の充実(教職経験6年未満)
 - ・ 学びチャレンジリーディング図画工作科の活用

【教科：確かな学力の向上・健やかな体の育成】

- 基礎的・基本的の確実な定着を図る → 学習指導要領の具現化
 - ・ 学習意欲の喚起と感動のある学習、協働的な学習
 - ・ 思考力・表現力・判断力の育成 → 朝自習時間の学習内容の見直し
 - ・ 学習活動・学習形態・教材教具等の工夫・専科の活用
- 意図的、計画的な実践 → 年間指導計画の見直し、作成する。
- わかる授業の創造。「めあて」「まとめ」「ふりかえり」の励行。
- 新スポーツテストを全学年・全種目で実施する。
- 【**道徳：心の育ちの推進・道徳科**】(教科書の効果的な活用等)
 - 年間計画に沿って、計画的、継続的な指導を行う。
 - ・ 時数の確保及び指導方法の工夫改善に努める。
- 【**特別活動：よりよい生活や人間関係を築こうとする児童の育成**】
 - 個性の伸長と集団の一員である自覚を深め、協力してよりよい生活しようとする自主的・実践的な態度の育成を図る。
- 【**総合的な学習の時間**】(総合的な学習の時間の本質を踏まえた単元の見直し)
 - 地域の素材を活かした教材を開発し、子どもの生き方を考えさせる 教育計画を作成・実践する。
- 【**特別支援教育：子ども一人一人の教育的ニーズに応える**】
 - 一人一人に合った、効果的な特支学級と交流学級との連携を図る。
 - 特支学級に限らず、通常学級の特別な支援を要する児童の実態を十分に把握し、一人一人の特性に応じた適切な指導体制と指導計画に基づき、一人一人の特性に応じた指導に努める。
 - 関係機関との連携を深め、一人一人の特性に応じた指導に努める。
- 【**外国語活動・外国語科**】(外国語専科の活用)
 - コミュニケーション活動の楽しさ、ALT等と連携した効果的な指導



【**人権教育：「学校教育における教育活動の基盤である。」という認識のもと、全教育課程の中で推進**】

- 人権意識の高揚に努めるとともに、わかる授業の実践に努める。
- 自他の人権を守ろうとする意識・意欲・態度と実践力を結びつける。
→ 「北九州市子どもつながりプログラム」を確実に実施する。
- 人権協等への計画的な参加をする。
- 【**生徒指導：危機管理の「さしすせそ」による対応**】
 - 「さ」最悪の事態を想定して 「し」慎重に
 - 「す」素早く 「せ」誠意をもって 「そ」組織で
 - いじめの早期発見に努め、職員の連携により早期解決を目指す。
→ いじめアンケートやSCによる聞き取りを早期発見に生かす。
 - 不登校児童に対し、職員の連携による問題解決に努める。
 - 家庭や関係機関との綿密な連携を図る。
 - 「1に29、29に300」(ハイソリックの法則)の危機管理意識の高揚
- 【**防災教育：主体的に行動する力の育成**】
 - 防災対応能力の基礎の定着を図る。 → 避難訓練、年3回以上の実施
- 【**学校図書館教育：読書好きな子どもの育成、シビックプライドの醸成**】
 - 学習センター・情報センター・心の居場所としての学校図書館の環境整備と読書活動の充実。
- 【**食育：栄養教諭と連携した食に関する指導。望ましい食習慣の育成**】
 - 食に関する指導を計画的に実施。保護者への啓発のための取組も。
- 【**国際理解教育：「多文化共生の理念」の育成。『宇宙船地球号』**】
 - 自文化理解 地域のよさ、北九州のよさ、我が国のよさを実感させる。
 - 異文化理解 ALT等との積極的な関わりで異文化のよさを実感。共生観を。